

依存症対策の取組状況について（令和 5 年度事業実績等）

精神保健課・こころの健康センター

相談実績

【個別相談件数（所内面談、電話、訪問、グループワーク、メール、手紙）】

（令和 5 年 4 月～9 月末までの速報値）※前年度実績は通年分

こころの健康センター		各保健センター（計 7 か所）		延べ相談件数合計
依存種別	延べ相談件数	依存種別	延べ相談件数	
薬物	182 件（前年度 682 件）	薬物	94 件（前年度 236 件）	276 件（前年度 918 件）
ギャンブル	356 件（前年度 718 件）	ギャンブル	12 件（前年度 8 件）	368 件（前年度 726 件）
※アルコール	4 件（前年度 18 件）	アルコール	507 件（前年度 1009 件）	511 件（前年度 1027 件）

※こころの健康センターのアルコール依存症の相談実績は、電話相談の件数

【グループワーク関係】 <こころ健康センター実績>（令和 5 年 4 月～9 月末）※前年度実績は通年分

事業名	延べ参加人数		
薬物本人グループワーク	14 人	11 回開催	（前年度 24 回開催 45 人）
薬物家族教室	3 人	1 回開催	（前年度 3 回開催 9 人）
薬物家族教室（保護観察所堺支部共催）※	8 人	1 回開催	（前年度 2 回 10 人）
ギャンブル本人グループワーク	11 人	6 回開催	（前年度 10 回 21 人）
ギャンブル家族教室	8 人	3 回開催	（前年度 5 回 21 人）
薬物・ギャンブル合同家族教室	4 人	1 回開催	（前年度 4 回 21 人）

【他機関連携による事業実績】 <こころの健康センター実績>（令和 5 年 4 月～9 月末）

連携先	延べ出務人数	
ナラノン（薬物依存症家族）	2 人	（家族教室 1 回）
ダルク（薬物依存症当事者）	11 人	（当事者グループワーク 11 回）
ギャンブル依存症家族の会	1 人	（家族教室 1 回）
大阪いちょうの会（司法書士）	2 人	（家族教室等 1 回）

依存症啓発関係

 アルコール依存症・ギャンブル等依存症啓発週間における啓発

啓発名	内容
ギャンブル等依存症問題啓発週間	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページにてギャンブル等依存症についての情報を掲載 ○啓発ポスター掲示（本庁および各区市政情報コーナー、保健センター等） ○啓発パネル展示 堺市役所高層館 1 階ロビー ○デジタルサイネージ 堺市役所本庁舎内 ○SNS、アプリでの発信（堺市広報課 Twitter（現 X）、Facebook、おおさか健活マイレージアスマイルにて） ○大阪府・大阪市共同事業：啓発動画やシンポジウムにて啓発を実施

アルコール関連問題啓発週間 (11月10日～11月16日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページにアルコール関連問題についての情報を掲載 ○啓発パネル展示 堺市役所高層館 1階ロビー ○啓発ポスター掲示 (本庁および各区市政情報コーナー、保健センター等) ○SNS、アプリでの発信 (堺市広報課 X (旧 Twitter)、Facebook、救急部 X、おおさか健活マイレージアスマイルにて) ○応急手当講習受講者を対象とした啓発
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研修事業

【大阪府・大阪市・堺市共同事業】

- 医療機関職員向けの専門研修 (依存症) の実施 (大阪精神医療センター委託)
令和5年10月4日 (水) ※大阪精神科病院協会会員病院職員対象 参加者数: 73人

- ① 講義「ギャンブル依存症の治療と回復」
- ② 講義「ねや川サナトリウムでのギャンブル依存症に関する取り組み」

- 第1回 令和5年12月9日開催 (予定) ※オンライン研修 参加者数: 人

- ① 講義「大阪精神医療センターでの薬物依存症治療の取り組み」
- ② 体験談から学ぶ
- ③ 講義「依存症の家族支援 私の経験から」
- ④ グループワーク「事例を通じて支援を展開する」

- 第2回 令和6年1月13日開催 (予定) ※対面研修

- ① 講義「依存症を再定義する」
- ② 講義「さいがた医療センターでのアルコール依存症治療の取り組み」
- ③ 体験談から学ぶ
- ④ 講義「大阪精神医療センターでのアルコール依存症治療の取り組み」
- ⑤ グループワーク等

- 支援に関わる関係機関職員向け研修 (依存症) の実施 (大阪府)

＜依存症相談対応・基礎研修＞

令和5年7月10日 参加者数: 100名 (対面: 38名、オンライン: 62名)

- ① 講演「ギャンブル等依存症の理解と相談対応について」
- ② 体験から学ぶ～ギャンブル等依存症のご本人・ご家族による体験談～

【こころの健康センター】

- オンライン形式で実施 (予定も含む)

令和6年1月 (予定)	ブリーフ・インターベンションについて	—
-------------	--------------------	---

【国の研修参加および会議参加等】 (堺市内医療機関および相談機関)

- 依存症治療指導者養成研修・相談対応指導者養成研修・地域生活支援指導者養成研修 (精神科医療機関および相談機関向け)

- ① アルコール 受講者: 医師・保健師 2名

②ギャンブル等 受講者：医師・精神保健福祉士・臨床心理士・社会福祉士 4名

③薬物 受講者：医師・精神保健福祉士 2名

④ゲーム 受講者：医師 1名

※令和5年10月末時点で、すべてオンライン研修。

※人数については、受講済みもしくは受講決定されている人を含む。

アルコール依存症臨床医等研修（医療機関、相談機関向け）

精神保健福祉士コース 受講者 精神保健福祉士 1名

医師（基礎）コース 受講者 医師 1名

都道府県等依存症専門医療機関・相談員等全国会議 ※令和6年2月9日開催予定
（依存症専門医療機関および公的相談機関対象）

大阪府依存症関連機関連携会議（本会、各部会）※令和5年9月末時点
参加者：医師等 参加回数：計2回

※その他、国及び府による研修や会議において多数参加を予定。

こころの健康センター参加実績（令和5年4月～9月末）

期間	場所	実施主体	研修名	参加者
R5.12.7	オンライン	県	BI&HAPPYプログラム研修	精神保健福祉士 1名

市内関係機関の連絡調整

依存症対策庁内連絡会

第1回：令和5年8月24日（木） 第2回：令和6年2月29日（木）（予定）

依存症対策推進懇話会

医師、学識経験者等から専門的な意見を聴取するために開催。

第1回：令和5年10月18日（水） 第2回：書面報告（予定）

地域連携事業

堺市市域版 OAC ミニフォーラム

令和6年1月23日（火）（予定）

計画策定関連事業

堺市依存症地域支援計画

○令和4年3月策定、同4月施行

■ 第7次計画における依存症対策の評価について

※7次計画での取組の方向性

「依存症対策を推進するため、相談窓口の充実を図るとともに、依存症者支援にかかる関係機関に対する研修等を実施することで相談対応力の向上に取り組みます。」

【相談窓口の充実について（評価）】

2018年4月、こころの健康センターを「依存症相談拠点」として定めるとともに、ギャンブル等依存症専門相談を開始し、以降、個別相談や回復プログラム（グループワーク）、家族支援を含んだ専門相談を実施し、体制強化を行った。

【関係機関に対する研修について（評価）】

- ・大阪府、大阪市との共同事業として、医療機関や支援者向けの研修を実施し、依存症支援に関する相談対応力の向上をはかった。
- ・こころの健康センターでは、市内支援者向けの依存症や依存症支援に関する研修を実施し、相談対応力の向上をはかった。

【その他の依存症関連施策について（評価）】

- ・依存症対策推進懇話会を毎年開催し、当事者を含む専門性のある方々からの意見聴取や様々な情報交換を行なった。
- ・2020年には市民5,000人を対象とした意識・行動調査を行い、その調査を十分に参考にしながら、2022年3月に「堺市依存症地域支援計画」を策定することにより、計画的な依存症施策（医療機関の充実、普及啓発、地域連携等）の遂行する体制づくりを行った。